

【感想】 スウェーデン王立工科大学で過ごした1年間は新鮮な発見の連続で、私にとってかけがえのない経験となりました。

学業面では、授業スタイルの違いは顕著であり、発信力のある海外の学生たちとのディスカッションでは苦難の連続でした。それらを通して得られたコミュニケーション能力や発信力は今後の人生で必ず生きると確信しています。

また、他ならぬスウェーデンという国で生活できたことは私の人生観・世界観を変えました。スウェーデンでは男女平等社会が実質的に実現されており、例えば育児休暇取得率も男女ともに約80%にまでのびます。また国民のワークライフバランスが大変良いことでも有名であり、働き方改革が具体的に動き始めた日本と比べると、スウェーデンは何十年も先を行っているように思われます。またスウェーデンはカード決済やスマートフォン決済が定着しており、世界で一番貨幣流通率の低い国です。このように日本と引き合いに挙げられることも多いスウェーデンでの生活は、日本で生活してきた私の「常識」の概念を覆しました。「何事にも正解・不正解はないから、柔軟に発想していこう」と思えるようになりました。そしてこの経験を生かして、日本に良い変化をもたらせるよう、精進していこうと固く決意しました。

このような経験ができたのも、京土会の皆様の支援あってのものです。ここに厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。